

◆令和4年度研究賞受賞者◆

---

【荻村孝特別研究賞】

吉田 健一（国立がん研究センター研究所 がん進展研究分野 分野長）  
ファンコニ貧血患者血液細胞におけるゲノム不安定性および白血病化機序の解明

【清水保信賞】

石山 賢一（京都大学医学部附属病院 血液腫瘍内科 特定病院助教）  
最適な腫瘍免疫療法を選択するための急性リンパ性白血病治療効果を予測する腫瘍免疫プロファイリングの開発

【クレティゼン賞】

田中 洋介（熊本大学 国際先端医学研究機構 特任講師）  
カルシウムからみた造血幹細胞のストレス応答

【井手幸子賞】

安部 佳亮（筑波大学血液内科 大学院生 日本学術振興会特別研究員）  
一細胞解析の応用によるリンパ腫特有の腫瘍微小環境変化の解明

【臨床医学特別賞】（順不同）

安達 慶高（Department of Surgery, University of Michigan School of Medicine）  
がん免疫療法によるがん細胞死の耐性メカニズムの解明

山本 俊亮（九州大学大学院 医学系学府 成長発達医学分野）  
両親の医療用化学物質への職業性曝露と小児がん発生との関連についての疫学研究

【一般研究賞】（順不同）

盛武 浩（宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 教授）  
再発難治小児急性骨髄性白血病の予後改善へと繋げるオミックス解析

藤原 英晃（岡山大学病院 血液・腫瘍内科 助教）  
従来の細胞死(アポトーシスとネクローシス)とは異なる免疫細胞性組織障害における新規細胞死を基にした「免疫反応への組織耐性」導入と抗腫瘍効果を両立させる研究

植田 航希（福島県立医科大学 輸血・移植免疫学講座 講師）  
前白血病病変から急性白血病への進行に関わるnongeneticな因子の検索

西村 耕太郎（公益財団法人神戸医療産業都市 推進機構 先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部 主任研究員）  
新規TP53変異AMLモデルを用いた、p53変異体の生物学的役割と予後不良・治療抵抗性をつなぐ分子機構の解明と治療標的の探索

七條 敬文（熊本大学病院 血液・膠原病・感染症内科 医員）  
ヒト細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)の適応進化不全による成人T細胞白血病(ATL) 発がん機構の解明と新規治療薬の探索

工藤 海（東海大学医学部 基盤診療学系先端医療科学 幸谷研究室 研究員）  
造血腫瘍におけるsPLA2-EV軸ドライバーマクロファージ誘導機構の解明

濱田 太立（名古屋市立大学大学院 医学研究科ウイルス学分野 講師）  
キメラ抗原受容体T (CAR-T)細胞製剤の改善に向けた抗腫瘍効果の高いT細胞集団の同定とその特徴の解明

眞弓 あずさ（京都府立医科大学附属北部医療 センター 助教）  
難治性小児急性骨髄性白血病の発症にかかわるFUS-ERG融合遺伝子の機能解析による病態解明と白血病発症マウスモデルの作成

【毎日賞】

小児白血病研究会 (JACLS) AML小委員会 吉田 秀樹（京都府立医科大学 小児科 助教）  
複数回の造血幹細胞移植を実施した小児急性骨髄性白血病 難治例を対象とした ①治療成績と予後因子の検討 ②緩和ケアの評価および体制整備の充実に向けた検討

【小林登賞】

関西医科大学医学部 小児科学講座 大町 太一（関西医科大学 医学部小児科学講座 助教）  
人工知能を活用した眼瞼結膜画像による非侵襲的かつ迅速な貧血予測システムの開発